

地域おこし協力隊着任 島田勝(しまだまさる)さん



7月から地域おこし協力隊として、島田勝さんが着任しました。津久見市に着任している中では、3人目の協力隊員となり、協力隊の着任地としては初となる保戸島で、保戸島の観光振興に関する業務や、活性化に向けた活動をしていきます。

教育長から感謝状 村上珠美先生



7月10日、つくみん公園にて、「おはよう!つくみん体操」(朝の市民ラジオ体操)の指導者としてもご尽力いただき、村上珠美先生へ平山教育長から感謝状が贈られました。村上先生は、45年間に渡り、健康体操の指導者として市民の健康を守るために、献身的に活動していただいています。

第二中学校で開催されました 応急手当・救急蘇生講習会



7月9日、第二中学校で、津久見市医師会立津久見中央病院が主催する「応急手当・救急蘇生講習会」が開催されました。講習の中で生徒たちは、心肺蘇生法やAEDの使い方、看護師の方や消防署の職員から教わりながら、実践したりと、生徒一人ひとりにとって、とても貴重な体験になりました。

※市ホームページ内「取材日誌」、市公式フェイスブックにて、掲載できなかった写真や記事をご覧ください。

伝統なる夏の大祭 保戸島夏祭り



7月7日・8日の2日間にかけて保戸島での大きなイベントの一つである「保戸島夏祭り」が行われました。子どもの魚つかみ取り大会や湯立て、餅まき、お神楽など、様々な催しが行われ、島中が大いに盛り上がりました。

また、今年4月には、この保戸島の夏祭りが津久見市の指定文化財にも指定され、神輿が海に飛び込んでいく光景を一目見ようと、島民や里帰りした人など、多くの方が参加し、写真撮影をしている姿もありました。少し雨に降られる時間もありましたが、予定通り打ち上げ花火も行われ、熱い2日間を締めくくりました。



全国大会 春夏連続出場! 大分南リトルシニア



5月3日から6月24日まで、宮崎県で開催された日本リトルシニア中学硬式野球協会「2018 第46回日本選手権九州予選大会」において、各県の強豪を下し、見事大会連覇を達成しました。大分南リトルシニアは、部員31名のうち津久見市の選手が12名在籍しており、全国大会出場を前に市教育委員会で抱負を述べました。

初の九州大会へ 津久見ジュニアバレーボールクラブ



6月に中津市で開催された「第38回全日本バレーボール小学生大分県大会女子の部」で第3位という好成績を取った、津久見ジュニアバレーボールクラブが8月17日から19日に宮崎県で開催される九州大会へ出場します。九州大会出場は、クラブ創設以来、初めてだそうです。「必笑」のハチマキを頭に巻いて、チーム一丸となって、頑張ります。

ふるさと教育～扇子踊りの継承～

7月6日・17日に、千怒小学校・青江小学校・堅徳小学校の6年生が「ふるさと教育」扇子踊りの継承として、扇子踊り保存会のメンバー15名から津久見の伝統「扇子踊り」を指導していただきました。6月に実施された津久見小学校を合わせ、約120名の児童が指導を受けたことになります。



約2時間の指導の中で、汗いっぱいながら、一生懸命踊りを覚えている姿がたくさんあり、津久見の伝統文化にふれる貴重な時間になったと思います。



優雅な扇子の舞を披露します

扇子踊り娘認定式



おおいた夏の事故ゼロ運動



7月11日、「おおいた夏の事故ゼロ運動」にあわせて、市内園児51名と交通関係団体の皆さんで、街頭キャンペーンを行いました。園児たちは、運転者に交通安全グッズを手渡したり、体験型交通安全教室に参加したりと、交通安全について学ぶ貴重な時間を過ごしました。

国民文化祭に向けてのフレスコ画共同制作



津久見の貴重な資源である「石灰」を使って、それぞれが、2億4千万年前の宇宙塵が眠る「網代島」などを描き、神秘的な作品を完成することができました。作品のお披露目は、津久見市で国民文化祭が始まる10月21日を予定しています。どんな作品になったのか、とても楽しみです。

津久見の貴重な資源である「石灰」を使って、それぞれが、2億4千万年前の宇宙塵が眠る「網代島」などを描き、神秘的な作品を完成することができました。作品のお披露目は、津久見市で国民文化祭が始まる10月21日を予定しています。どんな作品になったのか、とても楽しみです。

「食中毒」に気をつけましょう 食中毒予防研修会



6月26日、市民ふれあい交流センターで食中毒予防研修会が開催されました。この研修会は、大分県中部保健所衛生課の奈須直子氏を講師に招き、食中毒の基礎知識や今年多発しているノロウイルスなどによる食中毒の原因、発生状況を知ってもらい、予防対策や正しい手洗いの方法などを身につけてもらう目的で開催されました。